

教育目標：○元気な子 ○やりとげの子 ○考える子 ○思いやりのある子

めざす学校像：保護者や地域から信頼される学校

めざす児童像：子どもたちが主体的に学び活動する学校

めざす教師像：教職員が協働して教育活動を創造していく学校

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標評価				成果指標評価			
				基準		基準		基準		基準	
				中間	最終	中間	最終	中間	最終	中間	最終
豊かに表現する力を育てる教育の充実	考え、豊かに表現し、実践できる力の育成	情報を活用した主体的・協働的な学びの実現	○タブレットPCを活用したICTや、新聞、図書資料、既習事項を活用した授業改善を図り、情報活用能力の一層の伸長を図る。 ○図書館の活用、地域教材の開発や地域人材の活用を通して学ぶ楽しさと学び方を指導する。	○	○	4	授業改善をほぼ実施できたとする教員 90%以上	○	○	4	課題解決力や情報活用能力が育ってきていると言える児童・保護者 80%以上
				3	授業改善をほぼ実施できたとする教員 80%以上	3	課題解決力や情報活用能力が育ってきていると言える児童・保護者 70%以上				
				2	授業改善をほぼ実施できたとする教員 70%以上	2	課題解決力や情報活用能力が育ってきていると言える児童・保護者 60%以上				
				1	授業改善をほぼ実施できたとする教員 60%以上	1	課題解決力や情報活用能力が育ってきていると言える児童・保護者 50%以上				
	基礎学力の確実な定着	○東京ベーシックドリルを活用し、個に合わせて既習事項定着の徹底を図る。 ○習熟度別指導、算数補習教室等を実施し、個別最適な学びを充実する。 ○体力調査の考察を元に「一学級一取組」や、休み時間の外遊びの工夫や推奨を行う。	○	○	4	ほぼ実施できたとする教員 90%以上	○	○	4	学ぶ楽しさを実感し、学習したことが定着したと言える児童・保護者 80%以上	
			3	ほぼ実施できたとする教員 80%以上	3	学ぶ楽しさを実感し、学習したことが定着したと言える児童・保護者 70%以上					
			2	ほぼ実施できたとする教員 70%以上	2	学ぶ楽しさを実感し、学習したことが定着したと言える児童・保護者 60%以上					
			1	ほぼ実施できたとする教員 60%以上	1	学ぶ楽しさを実感し、学習したことが定着したと言える児童・保護者 50%以上					
保護者・地域と連携した学習や活動の開発	保護者・地域と連携し、国分寺市や地域を共に大切に育てる子どもの育成	学校の教育活動について保護者・地域に理解を得る。 ○保護者・地域からの情報や学校の課題を、コミュニティ・スクール協議会で検討し、内容を保護者・地域へ発信する。	○	○	4	ほぼ実施できたとする教員 90%以上	○	○	4	情報発信の内容・回数等についての理解と満足度の高さ 80%以上	
					3	ほぼ実施できたとする教員 80%以上	3	情報発信の内容・回数等についての理解と満足度の高さ 70%以上			
					2	ほぼ実施できたとする教員 70%以上	2	情報発信の内容・回数等についての理解と満足度の高さ 60%以上			
					1	ほぼ実施できたとする教員 60%以上	1	情報発信の内容・回数等についての理解と満足度の高さ 50%以上			
	地域・保護者の人材、教材を生かした、郷土に根差す学習活動の開発	○コミュニティ・スクール協議会等の機能を生かし「国分寺学」を中心に、地域と連携を深める教育活動を継続・発展する。 ○中学生ボランティア等一中学区で小中連携の取組を行う。 ○学校行事や学習活動で市制施行60周年に関連した取組を行う。	○	○	4	ほぼ実施できたとする教員 90%以上	○	○	4	地域学習についての理解と満足度の高さ 80%以上	
					3	ほぼ実施できたとする教員 80%以上	3	地域学習についての理解と満足度の高さ 70%以上			
					2	ほぼ実施できたとする教員 70%以上	2	地域学習についての理解と満足度の高さ 60%以上			
					1	ほぼ実施できたとする教員 60%以上	1	地域学習についての理解と満足度の高さ 50%以上			
豊かな心を育てる教育の充実	人権尊重の精神を育成し、豊かな心を育てる教育の充実	自尊感情の向上 自分や友達、一人一人を大切にできる子の育成	○理解教育や、スタートカリキュラムの理念を生かし、一人一人の多様性を認めた指導を行う。 ○学校教育全体を通して道徳教育に取り組み、授業のキーワードを教室内に掲示する。	○	○	4	ほぼ実施できたとする教員 90%以上	○	○	4	他者を思いやる気持ちを表す言動ができる割合 90%以上
				3	ほぼ実施できたとする教員 80%以上	3	他者を思いやる気持ちを表す言動ができる割合 80%以上				
				2	ほぼ実施できたとする教員 70%以上	2	他者を思いやる気持ちを表す言動ができる割合 70%以上				
				1	ほぼ実施できたとする教員 60%以上	1	他者を思いやる気持ちを表す言動ができる割合 60%以上				
	学校や学級への帰属意識の高揚	○保護者・地域と連携し、学校・家庭・地域での適切な言葉遣いや挨拶のできる環境を整える。 ○縦割り班活動等の充実を図り、活動を通して異学年と交流を深め、他を思いやる気持ちを育む。	○	○	4	ほぼ実施できたとする教員 90%以上	○	○	4	すすんであいさつができる児童 80%以上	
					3	ほぼ実施できたとする教員 80%以上	3	すすんであいさつができる児童 70%以上			
					2	ほぼ実施できたとする教員 70%以上	2	すすんであいさつができる児童 60%以上			
					1	ほぼ実施できたとする教員 60%以上	1	すすんであいさつができる児童 50%以上			